

# 川名康介県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

## 様々な対策の実施を

### 安房地域の振興へ

#### 2月県議会・一般質問



2月県議会に登壇し、質問する川名康介県議員

安全・安心なふるさとづくりの全力を注ぐ、川名康介県議(鴨川市・南房総市・安房郡選出)は、2月県議会の一般質問に登壇。安房地域の振興に向けて様々な課題を取り上げ、県当局をたどりました。川名県議の質疑と、県執行部の回答について、概要をお伝えします。

**地域振興にどう取り組むか**  
川名議員 先般策定された「千葉県総合計画」では、千葉経済圏の確立と社会資本整備が掲げられたが、半島性の克服について安房地域である夷隅地域

や我が安房地域に関して、知事には更に踏み込んだ施策を考えて欲しいと感じている。

安房地域は、一大産業である観光の振興など、更なる発展に向けて取り組む必要がある。

地があり将来性があると考える。一方で、人口減少や少子高齢化、地域産業の担

#### 移住・定住

##### 安房地域への移住・定住策

川名議員 二地域居住や移住定住について、安房地域の特性を生かすように進めているのか。また、今後どう進めるのか。

総合企画部長 県では、今年度から、東京メトロで配布されるフリーマガジンやSNSを活用して、二地域居住や移住の魅力などを発信してきたところです。

更に今後は、市町との連携を強化して、安房地域独自の魅力を組み合わせて発信し、ブランド価値を高めて、移住・二地域居住の促進に取り組んでまいります。

高収益作物の栽培技術指導に取り組んでおります。更に、草刈りや排水路清掃を地域ぐるみで行う体制づくりを促進し、法人化や雇用環境の整備に向けて専門家を派遣や助成を行うなど、地域の担い手が将来にわたり安定的に経営できるように支援してまいります。

#### 農地・漁業

##### 農業の担い手への支援

川名議員 農地の基盤整備は食料の安定供給と生産性の向上のために重要な取組で、現在、県内22か所で整備事業が実施されている。

鴨川市でも、2地区で実施され、加茂川中部地区は、令和7年度に工事の完了が見込まれている。今後は、整備された農地を活用する担

い手への支援が重要である。そこで何かが、基盤整備後、地域の担い手を、どのように支援していくのか。

農林水産部長 県では、大区画化した水田を効率的に活用できるようスマート農業機械や、苗の移植が不要となる栽培方法の導入を支援しています。また、ナバナなど地域の特性を生かした

農林水産部長 県では、国や市町村と連携して、活動グループに対し、活動費を助成しているほか、活動計画の作成や取組の技術的な指導などを行っております。また、藻場の保全活動にダイビング関係者が加わるなど、参加者の輪が広がると好評事例の周知に努めているところです。

川名議員 漁業・漁村が有する多面的機能の発揮

川名議員 漁業・漁村が有する多面的機能の発揮

川名議員 漁業・漁村が有する多面的機能の発揮

川名議員 漁業・漁村が有する多面的機能の発揮

い手不足が深刻化し、今まさにこの課題に取り組んでいかなくてはならない。そこで何う。安房地域の将来性や優位性を踏まえ、地域振興にどう取り組むのか。

総合企画部長 県では、デジタル化の進展や、ライフスタイルの多様化などを見据え、ワーケーションの環境整備や、空き公共施設を活用した企業誘致など、新たな雇用や関係人口の創出に取り組んでおります。

加えて、来年度からは、首都圏の高度な副業人材と地域の課題解決に取り組む企業や団体とのマッチングを支援する予定です。今後も、時代の変化を捉え、地域と企業や人材を効果的に結びつけながら、安房地域の振興を図ってまいります。

川名議員 実際には、どんな支援を行っているのか。

総合企画部長 東京有楽町の「ふるさと回帰支援

#### 交通

##### 地域公共交通の維持・確保

川名議員 昨年、JR東日本が利用者の少ない線区の収支を初めて公表し、県内でも4路線5区間が対象となった。今後、存続に議論が及ぶ可能性もあり、今から対応する必要がある。

また、地域公共交通には、交通空白地域の解消という課題もある。そこで、何うが、地域公共交通の維持確保に向けて、県はどのような取り組みをしているのか。

総合企画部長 県では、広域的なバス路線に対して、国と協調して補助を行い、運行の維持を図るとともに、市町村と情報交換会を開催し、課題や取組を共有するほか、助言等を行っているところです。

地域公共交通の維持確保

デジタル化の進展や、ライフスタイルの多様化などを見据え、ワーケーションの環境整備や、空き公共施設を活用した企業誘致など、新たな雇用や関係人口の創出に取り組んでおります。

加えて、来年度からは、首都圏の高度な副業人材と地域の課題解決に取り組む企業や団体とのマッチングを支援する予定です。今後も、時代の変化を捉え、地域と企業や人材を効果的に結びつけながら、安房地域の振興を図ってまいります。

センター」に、今年度から千葉県専任の移住相談員を配置し、移住先の紹介や移住相談会等を実施し、今後とも移住ライフが実現できるよう支援してまいります。

知事には、安房地域の将来性を十分に

ご理解いただいたうえで、独自経済圏の確立を目指していただきたい。課題は多いが、ヒト・モノ・カネをいかに流通させるかが経済において重要であるという認識のもと、県政運営をお願いする。

点からの調整や検討が一層重要となることから、市町村や交通事業者との連携を密に取り組んでまいります。

#### 財源確保

##### 川名議員 各種事業に必要な財源を確保すること

必要は新規事業も多く、県民の関心が高い防災関係は、多額の財源が必要である。

そこで、県が環境問題に対応する事業を実施していくうえで財源を確保するため、広く民間の力を借りていくべきと思うがどうか。

知事 環境問題や社会問題への取組に対し投資をする「ESG投資」は、民間企業にとっては、持続可能な社会づくりへの貢献をアピールできるメリットがある

とされています。

近年、民間企業においてESG投資の意欲が高まっていることから、地方公共団体としては、環境施策等の財源とする地方債である「ESG債」を発行することで、より低い金利で資金を確保できる状況となつてい

ます。本県としても、民間企業の投資ニーズを取り込むことで事業に必要な財源を有利な条件で確保するため、令和5年度中のESG債の発行に向けて検討してまいります。

# 地すべり・高潮・津波から県民を守る

## 防災対策は急務



自席から再質問・要望する川名康介県議

### 地すべり対策の状況

川名議員 地すべりが発生しやすい地層は主に県南部に分布している。鴨川市の市街地に近い地域でも、地すべりが発生しており、市内の貝渚地区では地すべり対策事業が実施されている。そこで何かが、鴨川市貝渚の地すべり対策の実施状況はどうか。

県土整備部長 東条海岸の約1.5kmの区間では、高潮による浸水被害から防護するため、既存の護岸の位置に、新たに1層高い護岸の整備を進めています。

### 国道410号の拡幅工事

川名議員 国道410号は、南北方向に県南部を縦貫する幹線道路で、鴨川市から隣接の君津市、南房総市の旧丸山町、和田町、千倉町に抜けるための非常に重要な道路である。

## 国道410号八丁拡幅急げ 県道・通学路の早期整備も

### 国道410号の拡幅工事

川名議員 道路の幅員が狭く屈曲していることから、安全で円滑な交通を確保するため、2.2kmの現道拡幅事業を実施しています。

鴨川市側の0.6km区間で、引き続き用地取得を進めるとともに、南房総市側の0.3km区間では、道路の設計が完了したことから、今後用地測量に着手してまいります。

### 県土整備部長

鴨川市宮山から南房総市旧丸山町の大井において、現道の拡幅事業が行われているが進捗状況はどうか。

### 県土整備部長

410号は鴨川市宮山から南房総市大井までの区間で、

このうち、背後に観光施設等がある約0.7kmの区間の整備が完了し、現在はその南側の約0.6kmの護岸整備を進めております。

残る区間についても護岸整備を進め、地域の安全安心の確保に努めてまいります。

### 川名議員

津波に対する

### 安房と鴨川の合同庁舎

川名議員 館山市と鴨川市では、それぞれ安房合同庁舎と鴨川庁舎という新たな庁舎の整備が進められている。県民の命と財産を守るため、2つの庁舎をどのように整備していくのか。

### 総務部長

整備に当たって

対策はどうか。 県土整備部長 外房の海岸保全施設は、既往最大の高潮と、数十年から百数十年に一度程度の来襲が想定される津波の両方に対処できる高さを備えることとされています。

東条海岸では、高潮に対して必要な高さの方が高いため、高潮に対する高さを確保すれば、津波に対する高さの確保も図られることとなります。

### 鴨川分教室の改善

川名議員 鴨川市では、鴨川小学校内に、安房特別支援学校鴨川分教室が設置

### 川名議員

ケ尾地区における歩道整備の進捗状況はどうか。

### 県土整備部長

県道市原天津小湊線鴨川市天津地先の龍ヶ尾地区では、道路が狭隘で歩道もないことから、150mの区間において、道路拡幅を含めた歩道整備を進めています。

これまで約6割の用地を取得しており、今年度は竜ヶ尾橋の脇に新設する歩行者用の橋梁の設計を行っているところですが

引き続き必要な用地の取得を行い、迅速に整備を進めることを要望する。

### 通学路の安全対策

川名議員 小学校の通学

では、災害時に、各庁舎に同居する機関が、円滑に初動対応を行えるような機能を持たせることが必要と考え

### 教育長

教室不足に対応するため、令和5年度当初予算案において、更に二つの教室を使用するための経費を計上し、本年4月からの教室開設に向け、鴨川市と協議を進めています。

### 川名議員

これにより、合同使用していたクラスが解消されると

路の緊急着点検を受け、令和4年度は、鴨川市、南房総市、鋸南町において、どのような通学路の安全対策を講じたのか。

教育長 鴨川市、南房総市、鋸南町においては、学校教育委員会は「注意喚起の看板設置」、道路管理者は「歩道の設置、拡幅」や「路側帯のカラー舗装化」、警察は「横断歩道の移設」や「路面表示の補修」等の対策を、実施可能なものから、速やかに

行っています。 今後とも、各市町村や関係機関と連携をとりながら、残りの対策を着実に進め、通学路の安全対策に努めてまいります。

●県政と鴨川市、南房総市・安房郡へのご意見をお寄せください

川名康介 県議事務所 〒296-0001 鴨川市横渚1481-3

TEL 04-7092-1280 FAX 04-7096-5320

要望 小学部・中学部に おいては改善が図られるが、高等部がないことで遠距離通学の課題は残っているので引き続き改善を要望する。

に転用できるような仕様としております。 各庁舎については、現在、実施設計を行っているところであり、令和8年度の供用開始に向け、着実に整備を進めてまいります。